

〔 英語ブロック〔重要ランク順〕オリジナル英単語帳 〕

21
☑ hi [ハイ]

問 こんにちは、やあ

同音語：high (高い) → 【単語帳 No. 209】

☆ 朝昼晩いつでも使えるあいさつ。
親しい間柄で使う表現。

“Hi, Tom.” 『やあ、トム。』

※ hi は hello よりもくだけた表現。
うしろに相手の名前をつけて言うことが多い。22
☑ hello [ヘロウ]

発音注意

問 こんにちは
【電話で】もしもし

アクセント注意

☆ 朝昼晩いつでも使えるあいさつ。
hi よりもていねいな表現。
[ハロー] とは読まないことに注意！say hello to ~ 『~によろしくと言う』
→ 【単語帳 No. 361 … say】

“Hello, Mr. Green.” 『こんにちは、グリーン先生。』

“Hello, this is Ken (speaking).” 【電話で】
『もしもし、(こちらは)ケンです[←ケンが話しています]。』“Hello, Ken. This is Emi (speaking).”
『もしもし、ケン。(こちらは)エミです。』
※ I am ~ と言わないことに注意！

Please say hello to your parents.

『あなたのご両親によろしくお伝えください。』

※ 日本人は会ったことのない人にもこのように言うことが
あるが、英語では会ったことがない人には使わない表現。23
☑ bye [バイ]

発音注意

問 さよなら、バイバイ (= bye-bye)

同音語：buy (買う)、by (~によって)
→ 【単語帳 No. 189 … buy】、【No. 52 … by】※ bye-bye, good-bye などの - を
ハイフンと言う。単語と単語を
つないで1語にする動きがある。

例 twenty-one (21)

“Bye, Ken.” 『さよなら、ケン。』

※ bye は goodbye の短縮形で、くだけた表現。

Bye now! 『じゃあね。』

… アメリカ英語でよく使われる表現。

※ bye, goodbye は日本語の『行ってきます。』や
『行ってらっしゃい。』のようにも使われる。24
☑ goodbye [グッド(ド)バイ]

アクセント注意

問 さようなら、ごきげんよう

“Goodbye, Ms. Yamada.”

『さようなら、山田先生。』

※ goodbye は goodby, good-by,
good-bye と書くこともある。
ハイフンでつながっている語も
1語になるので、以上の4つの
表現はすべて単語1語。

《そのほかの別れのあいさつ》

…以下はすべて親しい間柄や友達同士などで使う表現。

See you. 『またね。』 → 【単語帳 No. 294 … see】

See you later [again]. 『あとで[また]会いましょう。』

→ 【単語帳 No. 422 … later】、【No. 224 … again】

Take care. 『さようなら。お大事に。』 → 【単語帳 No. 140】

Take it easy. 『じゃあね。気楽にいこう。』 → 【単語帳 No. 140】

So long. 『さよなら。』 → 【単語帳 No. 242 … long】

25
☑ oh [オウ]

発音注意

問 おお、ああ、あら
まあ、おや

同音語：アルファベットのO [オウ]

Oh, no! 『まいった! こまった! まさか!』

Oh, I'm sorry. 『あら、ごめんなさい。』

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル英単語帳 〕

26
☒ not [ナット/ノット]

☒ ~ (では) ない【否定文を作る語】

are **not** → aren't
 is **not** → isn't
 was **not** → wasn't
 were **not** → weren't
 do **not** → don't
 does **not** → doesn't
 did **not** → didn't
 can **not** → can't
 could **not** → couldn't
 will **not** → won't [ウォウント]
 would **not** → wouldn't
 must **not** → mustn't [マスト]
 should **not** → shouldn't
 need [助動詞] **not** → needn't
 [現在完了形] have **not** → haven't
 [現在完了形] has **not** → hasn't

《短縮形がないもの》

am と **not** の短縮形
 may と **not** の短縮形
 might と **not** の短縮形
 shall と **not** の短縮形

代名詞を含めて考えると、短縮形が2種類できるものがある。

you are **not** の短縮形
 → you're **not**, you aren't
 it is **not** の短縮形
 → it's **not**, it isn't
 they are **not** の短縮形
 → they're **not**, they aren't

☒ am と **not** の短縮形はない。
 ※ I am **not** → I'm **not** だけ。

be 動詞が過去形 (was, were) の場合、代名詞と was, were の短縮形はないので、短縮形は1種類だけになる。

☒ I was **not** の短縮形
 → I wasn't のみ
 they were **not** の短縮形
 → they weren't のみ

☆ be 動詞・助動詞のある文では そのうしろに **not** を、一般動詞のある文では do **not**, does **not**, did **not** のどれかを一般動詞の前において否定文を作る。

① be 動詞のある文 … be 動詞のうしろに **not** を使う。I'm [I am] **not** a student. 『私は学生ではありません。』She is **not** [isn't] my sister. 『彼女は私の姉ではありません。』We aren't [are **not**] busy now. 『私たちは今忙しくありません。』This is **not** [isn't] his book. 『これは彼の本ではありません。』Those aren't [are **not**] my boxes.

『あれらは私の箱ではありません。』

There is **not** [isn't] any libraries in this town.『この町には図書館が1つもありません。』 ※ There's **not** ~ も可I wasn't [was **not**] in Japan yesterday.

『私は昨日 日本にいませんでした。』

They were **not** [weren't] playing baseball at that time.

『彼らはそのとき野球をしていませんでした。』

② 一般動詞のある文 … do **not**, does **not**, did **not** を使う。I don't [do **not**] like cats. 『私はネコが好きではありません。』

Don't play tennis here. 『ここでテニスをするな。』

※ Do **not** ~ も文法的に正しいが、実際にはあまり使われない。He doesn't [does **not**] know me. 『彼は私を知りません。』Emi and Meg didn't [did **not**] go to school yesterday.

『エミとメグは昨日学校へ行きませんでした。』

③ 助動詞のある文 … 助動詞のうしろに **not** を使う。I can't [cannot/can **not**] swim. 『私は泳げません。』

※ cannot [キアナット] … 単語1語。

Kumi could **not** [couldn't] meet Tom at the station.

『クミは駅でトムに会うことができなかった。』

Ron will **not** [won't] come here tomorrow.

『ロンは明日ここに来ないでしょう。』

You must **not** [mustn't] run in the classroom.

『あなたは教室の中で走ってはいけません。』

You should **not** [shouldn't] go there alone.

『あなたはそこへ1人で行くべきではありません。』

We haven't [have **not**] seen Ken for a long time.

『私たちは長い間ケンに会っていません。』

My brother has **not** [hasn't] studied math for two days.

『私の弟は2日間数学を勉強していません。』

〔 英語ブロック〔重要ランク順〕オリジナル英単語帳 〕

27
 ☒ No. (no.) [ナンバ] ※ number の略語。→【単語帳 No. 334 … number】

☒ ~番、第~号、~番地【数字の前に使う】 No. 1 『第1番、第1号』 ※ 略語なのでピリオドが必要。
 ※ No. の複数形は Nos. (nos.) [ナンバズ] Nos. 2, 3 and 4 『2番、3番と4番』

28
 ☒ really [イ(-)アリィ] It's **really** hot today. 『今日は本当に暑い。』

☒ 本当に【間投詞のようにも使われる】 I **really** enjoyed the game. 『私は本当にその試合を楽しんだ。』

Really? 『本当ですか?』 ※ 上げ調子(ハ)で読む。下げ調子で読むと、『へえ。/ そうなんだ。』の意味になる。

29
 ☒ too [トゥー]

Me, **too**. 『私もです。』 ※ 同意・賛成を表すとき。

☒ ~もまた (also よりもくだけた語) I like swimming. I like fishing, **too**.
 あまりに~すぎる 『私は泳ぐのが好きです。私は魚釣りも好きです。』

☒ <too ~ to ...で> ~すぎて...できない I like math. He likes it, **too**.
 同音語: two (2)、to (~へ) 『私は数学が好きです。彼もそれが好きです。』

※ 文脈によって「~も」と訳す場所が異なるので注意!

『~も』の **too** はふつう文末に使う。
 also は一般動詞の前、be 動詞・助動詞
 のある文ではその後ろに使う。
 → also【単語帳 No. 777】

This hat is **too** small for me. 『この帽子は私には小さすぎる。』

That's **too** bad. 『それはお気の毒に。』

Don't eat **too** much. 『食べ過ぎるな。』

☆ 否定文での『~も(…ない)』は
too ではなくて either を使う。
 → either【単語帳 No. 630】

I am **too** tired to walk. 『私は疲れすぎて歩けません。』

= I am so tired that I can't walk.

※ so ~ that ... 『とても~なので...』の文と書き換え可。

30
 ☒ please [プリーズ]

Coffee, **please**. 『コーヒーをお願いします[ください]。』

☒ どうぞ、~してください
 ☒ (人)を喜ばせる、満足させる

Please sit down. / Sit down, **please**. 『どうぞお座りください。』
 = Will you sit down? 『座ってくれませんか?』

☆ **please** を使って『~してください。』と相手に依頼する文は、
 Will you ~? 『~してくれませんか?』の文と書き換え可。

命令文や依頼の文で、丁寧な意味
 を付け加える。命令文では文頭か
 文末に使う。文末に使うときは、
please の前に、(コンマ)が必要。

☆ Will you **please** ~ ? というていねいな依頼の文もある。

Will you **please** tell me the way to the station ?

『私にその駅までの道を教えていただけませんか?』

※ **please** は、疑問文では主語の後ろか文末におく。

please の副詞の用法は if you **please**
 『もしよろしければ』の if you が省略
 されたものと考えられている。

May I have your name, **please**? 『お名前を聞いてもいいですか?』

※ What's your name? よりもていねいで、好まれる表現。

… **please** に副詞の用法はなく、
 動詞だとする考え方もある。

You may [can] stay here if you **please**.

『もしよろしければここにいてください[かまいません]。』

be pleased to ~ 『喜んで~する、~してうれしい』

I'm **pleased** to meet you. 『あなたにお会いできてうれしいです。』

be pleased with ~ 『~に満足している、~を気に入る』

I was **pleased** with the present.

『私はその贈り物が気に入りました。』

Yes, **please**. 『はい、どうぞ。』
 『はい、お願いします。』

※ Will you have some tea ?
 『紅茶でもいかがですか?』、

May I open the window ?
 『窓を開けてもいいですか?』
 などの答えとして使われる。

〔 英語ブロック〔重要ランク順〕オリジナル英単語帳 〕

31
☑ yes [イエス] (⇔ no)

副 はい、ええ、そうです

※ 単独で使うときには そのあとに . (ピリオド) をつける。

Yes. 『はい。』 / No. 『いいえ。』

※ うしろに文が続くときには , (コンマ) をつける。

例 Yes, I am. / No, it is not. など

32
☑ no [ノウ]

副 いいえ、いや、だめ (⇔ yes)

形 一つも[1人も]~ない、~禁止

I have **no** brother(s). 『私には兄弟がいません。』

= I don't have any brothers.

※ any のうしろが数えられる名詞のときには 複数形の (e)s が必要。

同音語: know (知っている)

☆ **no** は数えられる名詞にも、
数えられない名詞にも使える。

I have **no** money. 『私はお金を持っていません。』

= I don't have any money.

※ money は数えられない名詞なので、複数形の (e)s はつかない。

no 名詞 = not (...) any 名詞

no one ~ 『だれも~ない』

No one [Nobody] knows it. 『だれもそれを知りません。』

※ **no one** ~ は3人称・単数あつかい→【単語帳 No. 41 … one】

No smoking. 『禁煙』 / **No** parking. 『駐車禁止』

33
☑ Mr. [ミスタァ]

名 ~さん、~先生、~氏

Mr. → 男性に使う敬称。Mister の略語。

Ms. → 女性に使う敬称。**Mrs.** と **Miss** の合成語。

34
☑ Ms. [ミズ]

名 ~さん、~先生

Mrs. → 既婚の女性に使う敬称。Mistress [ミストゥレス] の略語。

Mrs. には『~夫人』の意味もある。

Miss → 未婚の女性に使う敬称。略語ではないのでピリオドは不要。

35
☑ Mrs. [ミスイズ]

名 ~夫人、~さん、~先生

<使い方> 姓または姓名の前に使う。

例 **Ms.** Yamada 『山田さん』 / **Ms.** Emi Yamada 『山田エミさん』

☆ 親しい間柄では 名前(ファーストネーム)やニックネームで呼ぶことが多い。

36
☑ Miss [ミス]

名 ~さん、~嬢、~先生

Do you know **Mr.** Brown ?

『あなたはブラウンさんを知っていますか?』

I saw **Mr.** and **Mrs.** Sato. 『私は佐藤夫妻に会いました。』

Ms. Hara is our math teacher.

『原先生は私たちの数学の先生です。』

※ 英語では『~先生』という表現も、teacher という語は使わずに、

Mr. Okamoto 「岡本先生」、**Ms.** Seki 「関先生」のように表す。

※ 女性に対してだけ、**Mrs.** (既婚) と **Miss** (未婚) を区別して使い分ける表現は好ましくないため、最近ではどちらにも **Ms.** を使うのが一般的。

37
☑ America [ア×りカ]

名 アメリカ合衆国 アクセント注意

Meg is [comes] from **America**.

『メグはアメリカ出身です。』

I want to go to **America**. 『私はアメリカに行きたい。』

America is larger than Japan.

『アメリカは日本より大きいです。』

I have been to **America** once.

『私はアメリカに一度行ったことがあります。』

〔正式名は the United [コ+イティッド] States [ステイツ] of America 〕

※ united … 統一された、states … state(州)の複数形

North **America** 『北米』 / South **America** 『南米』

派生語: American 名 アメリカ人
形 アメリカの、アメリカ人の
→ 【単語帳 No. 390】

※ **America** のほかにも the U. S. / the U. S. A. / the United States などの言い方もある。

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル英単語帳 〕

- 38
 ☒ **very** [ヴェリィ] Thank you **very** much. 『どうもありがとうございます。』
 This book is **very** interesting. 『この本はとてもおもしろいです。』
 I don't like cats **very** much. 『私はネコがあまり好きではありません。』
 ※ 否定文では **very** を「あまり」と訳す。
 He is the **very** person (that) I want to see.
 『彼こそがまさに私が会いたい人です。』
 ※ 関係代名詞 that の特別用法 → 【単語帳 No. 9 … that】 参照。
 かんたん英文法【関係代名詞】も参照のこと。
- 39
 ☒ **much** [マッチ] 発音注意
 Emi likes music very **much**. = Emi loves music.
 『エミは音楽がとても好きです[大好きです]。』
 He eats **much** [a lot]. 『彼はたくさん食べる。』
 ※ a lot 「たいへん、とても」
 Tom is **much** taller than I [me].
 『トムは私よりずっと背が高い。』
 ※ 形容詞・副詞の比較級を強めるときに very は使えない。
 I feel **much** better today than yesterday.
 『私は(昨日より)今日はずっと気分がいいです。』
 I want **much** [a lot of] water.
 『私はたくさんの水がほしい。』
 We have **much** [a lot of] rain in June.
 = It rains **much** [a lot] in June. ※ この **much** は副詞
 『6月にはたくさん雨が降ります。』
 How **much** money do you need?
 『あなたはどのくらいのお金が必要ですか?』
 How **much** is this book? 『この本はいくらですか?』
 I have **much** to say. 『私は言うことがたくさんあります。』
- 副 **とても、たいへん**
 【否定文で】あまり(〜ない)
 形 **まさにその**
- very** much = so much
 『とても、たいへん』
Very good.
 『たいへんけっこうです。とても良いです。』
- 副 **たいへん、おおいに、【比較の文で】ずっと**
 形 **たくさんの、多くの、多量の (⇔ little)**
 【数えられない名詞の前に使う】
 [比較変化] much - more - most 活用注意
 代 **たくさん、多量**
- How **much** 不可算名詞(〜) ... ?
 『どのくらいの(量の)〜。』
 How **much** ~ ? 『〜はいくらですか。』
- much** … 数えられない名詞の前に使う。
 many … 数えられる名詞の前に使う。
 a lot of … 数えられる名詞、数えられない名詞のどちらにも使える。
 lots of ~ とも言う。
 → lot [ラット] は「たくさん、多量」の意味。
 ※ many, **much** はふつう疑問文・否定文で使う。
 肯定文では a lot of ~ を使うことが多い。
 ☆ plenty [ブレンティ] of ~ 【肯定文で使う】
 … a lot of ~ 「たくさんの〜」と同じ用法。
- 40
 ☒ **sure** [シュア]
- 副 **もちろん、そうですとも、確かに**
 形 **確信して、きっと〜する**
- Sure**. 『いいよ。もちろん。』
 … アメリカで Yes. のかわりによく使われる。
 OK. (O.K.) [オウケイ] や、
 All right. とほぼ同意。
- be **sure** of ~ = be **sure** (that) ~
 『〜を確信している。』
 be **sure** to ~
 『かならず[きっと]〜する』
 make **sure** (of) 『(〜を)確かめる』
- Can I use the phone? → **Sure**.
 『電話を使ってもいいですか?』 『いいよ[もちろん]。』
 ※ **Sure**. のかわりに Certainly. [サートゥンリィ] を使うと、
 とてもいねいな肯定になる。 → 【単語帳 No.1037】
 That girl is **sure** cute. 『あの女の子は確にかわいい。』
 ※ cute [キュート] 「(小さくて)かわいい」
 Are you **sure**? 『確かですか?』 【相手の言った発言に対して】
 → Yes, I'm **sure**. 『はい、確かです。』
 She is **sure** of her success. 『彼女は成功を確信しています。』
 I'm **sure** (that) Tom will win the game.
 『私はトムがその試合に勝つことを確信しています。』
 Be **sure** to come at noon. 『かならず正午に来て。』